

# 三つの世代を越えて見えて来るもの： 文革世代、六四世代、そして八〇后世代へ

開催日：2013年2月23日(土)・24日(日)

会場：愛知大学名古屋校舎 厚生棟3階 W31・32会議室

(愛知県名古屋市中村区平池町4丁目60番6)

参加無料  
定員35  
要申込  
(先着順)

2月23日(土) 9:30~17:30

2月24日(日) 9:10~18:45

開会・挨拶 9:30~10:20

【総合司会】加々美光行(愛知大学)  
【学長挨拶】佐藤元彦(愛知大学・学長)  
【所長挨拶】高橋五郎(愛知大学国際中国学研究センター・所長)  
【趣旨説明】加々美光行

第1報告・討論 10:20~11:50

テーマ：革命、启蒙与世俗化：当代中国政治中的三代人

【セッション司会】山本恒人(大阪経済大学)  
【報告者】許紀霖(華東師範大学)  
【コメンテーター】江沛(南開大学)【討論司会】山本恒人

昼食休憩 11:50~12:40

第2報告・討論 12:40~14:10

テーマ：戦後日本人の視界に映った文化大革命・天安門事件

【セッション司会】陳東林(中国社会科学院)  
【報告者】馬場公彦(株式会社岩波書店)  
【コメンテーター】楊海英(静岡大学)【討論司会】陳東林

休憩 14:10~14:20

第3報告・討論 14:20~15:50

テーマ：早すぎた「文明の衝突」？ 民族主義者・社会主義者ウランフーの牧畜政策と中国との相克

【セッション司会】劉燕子(桜美林大学)【報告者】楊海英  
【コメンテーター】加々美光行【討論司会】劉燕子

休憩 15:50~16:00

第4報告・討論 16:00~17:30 (閉会 17:30)

テーマ：文革期の農村合作医療とその後の新型農村合作医療

【セッション司会】馬場公彦  
【報告者】西条正(津田塾大学)  
【コメンテーター】陳東林【討論司会】馬場公彦

閉会 17:30(閉会后招待制宴 閉宴予定20:10)

第5報告・討論 9:10~11:40

テーマ：吉拉斯和毛泽东的预言——“文革”对中国社会现代化的影响

【セッション司会】許紀霖【報告者】陳東林  
【コメンテーター】劉燕子【討論司会】許紀霖

休憩 10:40~10:50

第6報告・討論 10:50~12:20

テーマ：「文化大革命」の限界と、なおそれが今日に問いかけるもの

【セッション司会】加々美光行【報告者】山本恒人  
【コメンテーター】西条正【討論司会】加々美光行

昼食休憩 12:20~13:10

第7報告・討論 13:10~14:40

テーマ：息苦しい中国 日本人記者が見た文革・六四・八〇后世代

【セッション司会】楊海英【報告者】梅村育宏(東海テレビ放送株式会社)  
【コメンテーター】馬場公彦【討論司会】楊海英

休憩 14:40~14:50

第8報告・討論 14:50~16:20

テーマ：『救亡・啓蒙』と『自由主義・新左派』：文革とは

【セッション司会】江沛【報告者】加々美光行  
【コメンテーター】許紀霖【討論司会】江沛

休憩 16:20~16:30

第9報告・討論 16:30~18:00

テーマ：传统价值、政治运动、社会问题视野下的中国“文化大革命”

【セッション司会】西条正【報告者】江沛  
【コメンテーター】山本恒人【討論司会】西条正

総合討論 18:00~18:45 (閉会 18:45)

【司会】加々美光行

閉会 18:45

お申込み

お問い合わせ

■事前申込制：氏名(漢字とふりがな)、所属を明記のうえ、E-mail: [iccs-sympo@ml.aichi-u.ac.jp](mailto:iccs-sympo@ml.aichi-u.ac.jp) までお申込みください。申込者数が定員に達し次第、受付を締め切りますので、何卒ご容赦ください。なお、受付確認の返信や受講票の発行は行いませんので、シンポジウム当日に氏名及び所属を受付係にお伝えください。

■愛知大学国際中国学研究センター(ICCS)事務室  
〒453-8777 愛知県名古屋市中村区平池町4丁目60番6 TEL:052-564-6120 FAX:052-564-6220  
E-mail: [iccs-sympo@ml.aichi-u.ac.jp](mailto:iccs-sympo@ml.aichi-u.ac.jp)